

低 価 格 理 由 と そ の 詳 細 内 容

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費(仮設材含む)の低減	長年取引先からの購入
②	労務費の低減	
③	機械経費の低減	
④	新材料・新技術	
⑤	作業効率の向上	経験豊富による効率化施工
⑥	下請業者の協力	
⑦	経費の低減	仮設材の転用による運搬費の低減
⑧	現場管理費低減	スケールメリットと主要工程の凝縮により経費が低減。
⑨	安全資機材低減	
⑩	本支店経費の低減	本支店経費の低減
⑪	利益の低減	
⑫	受注実績の取得	
⑬	売上の確保	
⑭	その他	

上表の「低価格理由の詳細内容」は、元請負者が入札時の事情聴取で申告した低価格理由を項目毎に分類して例示したものです。

積算内訳書の比較表

工事区分・工種・種別	単位	入札時					工事完成時					備考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/ 官積 (%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/ 官積 (%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
PC箱桁橋工	式	1	1,251,323,996	1	962,471,000	76.9%	1	891,995,566	1	1,254,632,825	71.1%	
架設支保工(固定)	式	1	297,309,796	1	308,336,000	103.7%	1	228,981,900	1	297,309,796	77.0%	
支承工	式	1	146,861,600	1	121,597,000	82.8%	1	122,074,484	1	146,861,600	83.1%	
PC箱桁製作工	式	1	798,122,700	1	524,897,000	65.8%	1	534,628,292	1	801,357,340	66.7%	
落橋防止装置工	式	1	9,029,900	1	7,641,000	84.6%	1	6,310,890	1	8,636,300	73.1%	
変位制限壁工	式						1	345,517	1	467,789	73.9%	
橋梁付属物工	式	1	48,121,203	1	45,104,000	93.7%	1	58,736,654	1	61,903,343	94.9%	
排水装置工	式	1	18,912,610	1	15,297,000	80.9%	1	15,342,462	1	20,109,170	76.3%	
地覆・壁高欄工	式	1	28,218,213	1	28,026,000	99.3%	1	29,142,214	1	28,770,899	101.3%	
検査孔蓋工	式	1	842,380	1	1,626,000	193.0%	1	1,395,394	1	1,412,600	98.8%	
銘板工	式	1	148,000	1	155,000	104.7%	1	172,800	1	296,000	58.4%	
検査路工	式						1	297,000	1	449,100	66.1%	
橋梁用防護柵工	式						1	1,065,151	1	928,600	114.7%	
電気・通信管路工	式						1	3,782,050	1	3,492,606	108.3%	
情報管路工	式						1	6,400,000	1	6,444,368	99.3%	
仮設工	式						1	794,065	1	794,170	100.0%	
作業ヤード整備工	式						1	794,065	1	794,170	100.0%	
直接工事費	式	1	1,299,445,199	1	1,007,575,000	77.5%	1	950,732,220	1	1,317,330,338	72.2%	
共通仮設費	式	1	97,779,748	1	86,137,000	88.1%	1	65,018,000	1	103,735,328	62.7%	
共通仮設費	式	1	97,779,748	1	86,137,000	88.1%	1	65,018,000	1	103,735,328	62.7%	
純工事費	式	1	1,397,224,947	1	1,093,712,000	78.3%	1	1,015,750,220	1	1,421,065,666	71.5%	
現場管理費	式	1	251,500,000	1	167,348,000	66.5%	1	173,886,000	1	255,791,000	65.1%	
工事原価	式	1	1,648,724,947	1	1,261,060,000	76.5%	1	1,189,636,220	1	1,676,856,666	70.5%	
一般管理費等	式	1	130,075,053	1	55,940,000	43.0%	1	149,363,780	1	131,963,334	118.8%	
工事価格	式	1	1,778,800,000	1	1,317,000,000	74.0%	1	1,339,000,000	1	1,808,820,000	74.0%	

- 1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。
2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。
3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。
4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。
5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

平成18年度 東海環状 美濃関JCT高架橋PC上部工事

比較表-2

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領		1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。												
工事名		平成18年度 東海環状 美濃関JCT高架橋PC上部工事												
工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)*			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)**			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
PC箱桁橋工	式	1		1,251,323,996	1		962,471,000	1		891,995,566	1		1,254,632,825	
架設支保工(固定)	式	1		297,309,796	1		308,336,000	1		228,981,900	1		297,309,796	
支柱受台工	m	1,682	2,648	4,453,936	1,682	1,200	2,018,400	1,682	1,200	2,018,400	1,682	2,648	4,453,936	
支保	空m3	116,490	2,514	292,855,860	116,490	749	87,251,010	116,490	650	75,718,500	116,490	2,514	292,855,860	
支保工材損料	式				1		219,010,000	1		151,245,000				
調整費	式				1		56,590							
支承工	式	1		146,861,600	1		121,597,000	1		122,074,484	1		146,861,600	
支承(荷重支持部)設置	個	38	43,480	1,652,240	38	30,800	1,170,400	38	29,000	1,102,000	38	43,480	1,652,240	
支承(ハッファー)W<4.0t	個	6	72,460	434,760	6	49,900	299,400	6	45,000	270,000	6	72,460	434,760	
支承(ハッファー)4.0t≤W	個	18	109,577	1,972,386	18	68,300	1,229,400	18	62,000	1,116,000	18	109,577	1,972,386	
機能分離型支承材料費	式				1		114,919,000	1		114,636,484				
無収縮モルタル	m3	17.0	228,800	3,889,600	17.0	234,000	3,978,000	22.0	225,000	4,950,000	17.0	228,800	3,889,600	
調整費	式				1		800							
PC箱桁製作工	式	1		798,122,700	1		524,897,000	1		534,628,292	1		801,357,340	
鉄筋	t	1,188.59	198,100	235,459,679	1,188.59	129,600	154,041,264	1,205.22	136,600	164,633,052	1,188.68	198,100	235,477,508	
コンクリート	m3	7,233	60,400	436,873,200	7,233	37,550	271,599,150	7,137	37,350	266,566,950	7,233	60,400	436,873,200	
勾配コンクリート	m3	46	16,630	764,980	46	14,620	672,520	50	14,420	721,000	44	16,630	731,720	
PCケーブル	m	10,069	7,770	78,236,130	10,069	6,190	62,327,110	10,824	5,900	63,861,600	10,069	7,770	78,236,130	
PC緊張(両締め)	ケーブル	48	104,800	5,030,400	48	31,650	1,519,200	48	31,650	1,519,200	48	104,800	5,030,400	
PC緊張(片締め)	ケーブル	204	65,760	13,415,040	204	24,340	4,965,360	204	24,340	4,965,360	204	65,760	13,415,040	
PC定着装置	組				108		20,590	2,223,720	108	19,700	2,127,600			
PC定着装置(接続用)	組				192		28,590	5,489,280	192	27,395	5,259,840			
PC定着装置(固定用)	組				12		27,220	326,640	12	26,500	318,000			
PC継手設置	組	192	74,480	14,300,160	192	49,390	9,482,880	192	48,350	9,283,200	192	74,480	14,300,160	
横締めケーブル	m	2,573	3,207	8,251,611	2,573	2,930	7,538,890	3,176	3,020	9,591,520	3,176	3,207	10,185,432	
横締め緊張	ケーブル	198	29,250	5,791,500	198	23,790	4,710,420	243	23,790	5,780,970	243	29,250	7,107,750	
調整費	式				1		566							

比較表-2

内訳書に対する明細書の比較表

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。													
工事名	平成18年度 東海環状 美濃関JCT高架橋PC上部工事													
地覆・壁高欄工	式	1		28,218,213	1		28,026,000	1		29,142,214	1		28,770,899	
コンクリート	m3	395	16,490	6,513,550	395	16,690	6,592,550	431	16,690	7,193,390	393	16,490	6,480,570	
型枠	m2	2,150	6,274	13,489,100	2,150	6,130	13,179,500	2,142	6,130	13,130,460	2,150	6,274	13,489,100	
鉄筋	t	56.81	106,700	6,061,627	56.81	109,400	6,215,014	56.81	116,400	6,612,684	57.09	106,700	6,091,503	
目地材	m2	24	1,464	35,136	24	1,460	35,040	24	1,460	35,040	24	1,464	35,136	
遮音壁アンカー	箇所	140	9,425	1,319,500	140	8,610	1,205,400	164	7,710	1,264,440	164	9,425	1,545,700	
門型標識受台	箇所	2	184,200	368,400	2	184,300	368,600	2	172,500	345,000	2	184,200	368,400	
ノーズ(1)	箇所	1	330,200	330,200	1	328,200	328,200	1	328,200	328,200	1	330,200	330,200	
ノーズ(2)	箇所	1	100,700	100,700	1	101,000	101,000	1	101,000	101,000	1	95,770	95,770	
速度規制基礎	箇所						0	1	13,300	13,300	1	105,600	105,600	
道路照明受台	箇所						0	7	15,300	107,100	7	30,960	216,720	
分岐点用点滅灯基礎	箇所						0	1	11,600	11,600	1	12,200	12,200	
調整費	式				1		696							
検査孔蓋工	式	1		842,380	1		1,626,000	1		1,395,394	1		1,412,600	
検査孔蓋	箇所	14	60,170	842,380	14	116,100	1,625,400	14	99,671	1,395,394	14	100,900	1,412,600	
調整費	式				1		600							
銘板工	式	1		148,000	1		155,000	1		172,800	1		296,000	
銘板 500*500*13	枚	1	148,000	148,000	1	155,000	155,000	2	86,400	172,800	2	148,000	296,000	
検査路工	式							1		297,000	1		449,100	
検査路	箇所							6	49,500	297,000	6	74,850	449,100	
橋梁用防護柵工	式							1		1,065,151	1		928,600	
転落防止網	m2							105.2	9,506	1,000,031	60.0	14,490	869,400	
締切用アンカー	箇所							4	8,800	35,200	4	14,800	59,200	
コンクリートアンカーボルト設置	本							32	935	29,920				

比較表-2

内訳書に対する明細書の比較表

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
情報管路工	式							1		6,400,000	1		6,444,368	
情報管 SGP250A	m							22.0	29,500	649,000	22.0	19,980	439,560	
情報管 FEPφ50*6条	m							284.0	6,300	1,789,200	284.0	2,198	624,232	
特殊伸縮可とう管 A	基							1	880,000	880,000	1	1,027,000	1,027,000	
特殊伸縮可とう管 C	基							1	950,000	950,000	1	1,158,000	1,158,000	
伸縮可とう管継手	個							3	28,000	84,000	3	26,300	78,900	
メカニカル継手	個							5	22,000	110,000	5	19,700	98,500	
一般支持金具 A	組							1	52,500	52,500	1	92,550	92,550	
一般支持金具 B	組							4	61,500	246,000	4	80,380	321,520	
固定支持金具 C	組							4	61,500	246,000	4	98,990	395,960	
鉛直支持金具 E	組							2	62,000	124,000	2	63,400	126,800	
鉛直支持金具 B	組							2	62,500	125,000	2	63,400	126,800	
プルボックス1600*700*	箇所							1	517,000	517,000	1	815,000	815,000	
管路保護足場	基							6	27,500	165,000	6	52,650	315,900	
管路保護足場	基							6	11,500	69,000	6	52,650	315,900	
サヤ管取付金具	組							127	2,900	368,300	127	3,998	507,746	
プルボックス設置	個							1	25,000	25,000				
仮設工	式							1		794,065	1		794,170	
作業ヤード整備工	式							1		794,065	1		794,170	
敷鉄板設置・撤去	m2							410	182	74,620	410	1,937	794,170	
敷鉄板損料1524*3048*	枚							5	8,095	40,475				
敷鉄板損料1524*6096*	枚							43	15,790	678,970				

1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。
2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

比較表-4

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

工種種別	品名規格	単位	入札時(当初の予定)						工事完成時(実績)						※ 官単価 (最終)	備考
			数量	単価	購入先名			数量	単価	購入先名						
					業者名	所在地	入札者との 関係			業者名	所在地	入札者との 関係				
記入要領	1)「入札者との関係」欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等 2)官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。 3)総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。 4)実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 5)入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材(購入価格が工事費の約0.3%以上の資材)															
工事名	平成18年度 東海環状 美濃関JCT高架橋PC上部工事															
生コンクリート	36-8-25H	m3	7,233	14,250	太平洋セメント販売(株)	名古屋市中区錦1-2-11	永年取引先業者	7,136	14,050	太平洋セメント販売(株)	名古屋市中区錦1-2-11	永年取引先業者	15,200			
生コンクリート	24-8-25BB	m3	411	13,100	太平洋セメント販売(株)	名古屋市中区錦1-2-11	永年取引先業者	432	13,200	太平洋セメント販売(株)	名古屋市中区錦1-2-11	永年取引先業者	12,900			
生コンクリート	18-8-25BB	m3	49	10,600	太平洋セメント販売(株)	名古屋市中区錦1-2-11	永年取引先業者	53	10,400	太平洋セメント販売(株)	名古屋市中区錦1-2-11	永年取引先業者	12,600			
鉄筋	SD295A D13	t	315.8	63,000	トピー実業(株)	名古屋市中村区名駅5-16-17	永年取引先業者	327.5	73,000	トピー実業	名古屋市中村区名駅5-16-17	永年取引先業者	59,500			
鉄筋	SD295A D16	t	929.1	61,000	トピー実業(株)	名古屋市中村区名駅5-16-17	永年取引先業者	933.8	71,000	トピー実業	名古屋市中村区名駅5-16-17	永年取引先業者	58,000			
鉄筋	SD345D19~25	t		62,000	トピー実業(株)	名古屋市中村区名駅5-16-17	永年取引先業者		72,000	トピー実業	名古屋市中村区名駅5-16-17	永年取引先業者	58,500			
鉄筋	SD345D29~32	t	1.7	63,000	トピー実業(株)	名古屋市中村区名駅5-16-17	永年取引先業者	2.0	73,000	トピー実業	名古屋市中村区名駅5-16-17	永年取引先業者	59,500			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 580 * 79.5	組	5	633,159	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	5	630,648	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	812,000			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 760 * 98.5	組	6	1,079,605	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	6	1,075,322	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,380,000			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 840 * 106.5	組	5	1,366,096	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	5	1,360,676	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,750,000			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 615 * 83.5	組	2	688,298	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2	685,567	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	883,000			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 840 * 106.5	組	2	1,326,617	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2	1,321,354	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,700,000			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 715 * 94.5	組	3	927,450	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	3	923,771	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,190,000			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 760 * 98.5	組	9	1,065,265	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	9	1,061,039	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,360,000			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 805 * 102.5	組	3	1,196,121	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	3	1,191,376	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,530,000			
ゴム支承(荷重支持部)	φ 580 * 79.5	組	3	612,880	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	3	610,449	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	786,000			
ゴム支承(パUFFER部)	1020*1020*193.5	組	1	2,231,808	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1	2,222,954	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2,860,000			

比較表-4

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

工種種別	品名規格	単位	入札時(当初の予定)					工事完成時(実績)					※ 官単価 (最終)	備考	
			数量	単価	購入先名			数量	単価	購入先名					
					業者名	所在地	入札者との 関係			業者名	所在地	入札者との 関係			
			1)「入札者との関係」欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等 2)官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。 3)総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。 4)実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 5)入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材												
平成18年度 東海環状 美濃関JCT高架橋PC上部工事															
ゴム支承(バッファー部)	1520*1570*203	組	1	6,618,265	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1	6,592,009	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	7,160,000		
ゴム支承(バッファー部)	1020*1020*193.5	組	4	3,540,065	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	4	3,526,021	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	4,540,000		
ゴム支承(バッファー部)	1020*1020*193.5	組	2	4,033,669	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2	4,017,667	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	5,170,000		
ゴム支承(バッファー部)	1020*1020*193.5	組	2	1,675,206	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2	1,667,560	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2,140,000		
ゴム支承(バッファー部)	1020*1020*193.5	組	1	2,425,481	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1	2,415,859	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	849,000		
ゴム支承(バッファー部)	1020*1020*193.5	組	1	5,580,299	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1	5,558,161	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	3,110,000		
ゴム支承(バッファー部)	1020*1020*193.5	組	8	3,054,981	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	8	3,042,861	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	3,820,000		
ゴム支承(バッファー部)	1020*1020*193.5	組	2	3,335,832	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2	3,322,598	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	4,280,000		
ゴム支承(バッファー部)	φ760*98.5	組	2	1,536,310	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2	1,530,215	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,970,000		
変位制限構造	P1L	組	2	838,713	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2	835,385	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,070,000		
変位制限構造	P1R	組	2	937,050	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	2	933,332	(株)ゴウダ	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,200,000		
PC鋼より線	12S15.2	kg	133,032	203	極東鋼弦コンクリート振興㈱	東京都千代田区丸の内1-4-2	永年取引先業者	143,065	193	㈱メタルン鉄鋼製品販売	大阪市西区立売堀4-6-9	永年取引先業者	224		
PC鋼より線	1S28.6	組	13,412	575	(株)シーエールジャパン	東京都品川区北品川5-9-12	永年取引先業者	14,522	475	㈱メタルン鉄鋼製品販売	大阪市西区立売堀4-6-9	永年取引先業者	262		
定着具(縦)	12T15M319	組	120	28,590	極東鋼弦コンクリート振興㈱	東京都千代田区丸の内1-4-2	永年取引先業者	120	27,395	極東鋼弦コンクリート振興㈱	東京都千代田区丸の内1-4-2	永年取引先業者	259,000		
定着具(縦接続具)	C12V15TG	組	192	45,190	極東鋼弦コンクリート振興㈱	東京都千代田区丸の内1-4-2	永年取引先業者	192	44,165	極東鋼弦コンクリート振興㈱	東京都千代田区丸の内1-4-2	永年取引先業者	66,600		
定着具(横)	1S28.6	組	486	10,360	(株)シーエールジャパン	東京都品川区北品川5-9-12	永年取引先業者	486	9,600	㈱メタルン鉄鋼製品販売	大阪市西区立売堀4-6-9	永年取引先業者	9,460		
落橋防止装置工(A)	F230TD,L=5953	組	8	436,035	川口金属工業㈱	名古屋市中村区名駅5-31-10	永年取引先業者						478,700		
落橋防止装置工(A)	KT230,L=5953	組						8	295,700	(株)エスイー	名古屋市中村区名駅5-31-11	永年取引先業者	425,900		

比較表-4

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

工種種別	品名規格	単位	入札時(当初の予定)						工事完成時(実績)						※ 官単価 (最終)	備考
			数量	単価	購入先名			数量	単価	購入先名						
					業者名	所在地	入札者との 関係			業者名	所在地	入札者との 関係				
落橋防止装置工	トランペットシース	組	12	4,920	(株)エスイー	名古屋市中村区名駅5-31-10	永年取引先業者	12	3,200	(株)エスイー	名古屋市中村区名駅5-31-10	永年取引先業者	3,123			
地覆壁高欄工	門型標識受け台アンカー	組	2	72,900	フクダ機工(株)	大阪市西区新町1-2-13	永年取引先業者	2	62,000	共立機鋼(株)	大阪市西区九条1-29-11	永年取引先業者	72,510			
地覆壁高欄工	遮音壁アンカー	組	140	6,660	フクダ機工(株)	大阪市西区新町1-2-13	永年取引先業者	164	5,760	共立機鋼(株)	大阪市西区九条1-29-11	永年取引先業者	8,740			
検査孔蓋工	840*840	組	14	95,000	(株)ノナガセ	大阪市北区芝田2-8-11	東友会会員	14	78,571	共立機鋼(株)	大阪市西区九条1-29-11	永年取引先業者	72,210			
排水装置工	排水柵FRP製	組	10	70,500	フクダ機工(株)	大阪市西区新町1-2-13	永年取引先業者	10	56,887	(株)大城	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	67,900			
排水装置工	スラブドレーン	個	2	13,520	フクダ機工(株)	大阪市西区新町1-2-13	永年取引先業者	43	13,000	(株)大城	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	20,980			
排水装置工	フレキシブルチューブ	m	2	1,560	フクダ機工(株)	大阪市西区新町1-2-13	永年取引先業者	32	1,275	(株)大城	神戸市北区御幸通7-1-15	永年取引先業者	1,430			
排水装置工	鋼製排水溝	m	187	26,387	(株)ヒロセ	広島市南区西荒神町1-8	永年取引先業者	187	26,387	(株)ヒロセ	広島市南区西荒神町1-8	永年取引先業者	50,800			
排水装置工	鋼製排水流末管	組	8	10,713	(株)ヒロセ	広島市南区西荒神町1-8	永年取引先業者	8	10,713	(株)ヒロセ	広島市南区西荒神町1-8	永年取引先業者	17,500			

- 記入要領
- 1) 「入札者との関係」欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等
 - 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。
 - 3) 総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。
 - 4) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。
 - 5) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材

平成18年度 東海環状 美濃関JCT高架橋PC上部工事

比較表-6

労務者の確保計画の比較表

記入要領	1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は()なしで記入する。 ・自社労務者は()内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。								
工事名	平成18年度 東海環状 美濃関JCT高架橋PC上部工事								
工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
PC箱桁橋工	世話役	23,600	464	(株)亀田組 東友会大阪支部	23,600	426	(株)亀田組 東友会大阪支部	23,600	
	PC工	21,000	6,792		21,000	4,676		21,000	
	鉄筋工	16,600	3,328		16,600	2,218		16,600	
	とび工	16,500	2,340		16,500	1,440		16,500	
	型枠工	19,300	2,496		19,300	1,692		19,300	
排水装置工	世話役	23,600	17	協力会社 フクダ機工(株)	23,600	24	協力会社 (株)大城	23,600	
	普通作業員	14,200	67		14,200	31		14,200	
情報管路工	世話役	-	-	-	23,600	18	協力会社 (株)ライフク	23,600	
	配管工	-	-	-	14,200	38		14,200	
電気・通信管路工	世話役	-	-	-	23,600	11	協力会社 朝日エレクト(株)	23,600	
	電工	-	-	-	14,200	11		16,300	

比較表-7

工種別労務者配置計画の比較表

工 種	種 別	入札時（当初の予定）						工事完成時（実績）						備 考
		配置予定人数						配置人数						
		世話役	普通 作業員 (特殊含)	配管工	電工	オペ	計	世話役	普通 作業員 (特殊含)	配管工	電工	オペ	計	
PC箱桁橋工	架設支保工(固定)	1	16	-	-	2	19	1	10	-	-	2	13	
PC箱桁橋工	支承工	1	5	-	-	1	7	1	4	-	-	1	6	
PC箱桁橋工	PC箱桁製作工	1	30	-	-	2	33	1	22	-	-	2	25	
PC箱桁橋工	落橋防止装置工	1	3	-	-	1	5	1	3	-	-	1	5	
橋梁附属物工	排水装置工	1	-	4	-	-	5	1	-	3	-	-	4	
橋梁附属物工	地覆・高欄工	1	19	-	-	-	20	1	15	-	-	-	16	
橋梁附属物工	検査孔蓋工	1	4	-	-	-	5	1	3	-	-	-	4	
橋梁附属物工	銘板工	1	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	
橋梁附属物工	電気・通信管路工	-	-	-	-	-	0	1	-	-	2	-	3	
橋梁附属物工	情報管路工	-	-	-	-	-	0	1	-	3	-	-	4	

1) 職種名は例示したもののなので、該当する職種名に変更して記入して下さい。
 2) 世話役が、他の工種または他の工事と兼任している場合、正当な人数になるように按分して下さい。
 3) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用して下さい。

工事名

平成18年度 東海環状 美濃関JCT高架橋PC上部工事

III 工事費内訳

注)消費税抜きで記入してください

金額単位:千円

Main cost breakdown table with columns for project name, categories (1-9), and various cost items like materials, labor, and insurance.

黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
その他の部分:シート間の連携を助けるため、入力不可にして...

工事名
平成18年度東海環状美濃瀬川JCT
高架橋PC上部工事